



大分記念病院 常務理事・名誉理事長

豊田 貫雄氏

病院を継承する準備を進める

1980年、「患者中心のチーム医療」を目指す4人の医師で設立された大分記念病院。「血液疾患とその他の内科疾患全般を総合的に診療する病院」として、長年にわたって地域医療に貢献してきた。

創設者の一人である豊田名誉理事長は66年から4年間、米国の大学と国立病院での内科の担当医としてのトレーニングと臨床経験から、患者の病気を治すだけでなく、一人の人間として多面的にサポ

ートすることの大切さを学んだという。

「米国では学生や若い医師への臨床教育にとっても力を入れており、患者へ医療サービスを提供するための体制が確立されていた。大分の公的病院で8年半勤務した後、志を同じくする4人でチーム医療を目指すことにした」と振り返る。大分記念病院では医師たちと多職種のスタッフが専門分野を生かして協力し合うことでチーム医療を実現している。

現在、急性期一般病棟が49床、急性期後の疾患に対応する地域包括ケア病床が35床、慢性期疾患のケアを主体とする医療養病床が34床の計118床。時代の流れに合わせて受け入れ環境を充実させてきた。透析に特化した「竹田クリニック」、住宅型有料老人ホーム「はやの里」とデイサービス「森のコース」も運営しており、急性期から亜急性期、慢性期から在宅医療への切れ目のない医療体制を整えている。

昨年、創立40年の節目を迎えた。創設者4人の深い信頼関係は変わっており

ず、「それぞれ病気で入院したりもしたが、チーム医療だったから心配なく療養できた。今も皆元気に仕事ができているし、一緒にやってきて良かった」と語る。

今一番望んでいるのは「病院を末永く継承していきたい」ということ。この数年間、若手の常勤医師を増員しており、「病院の未来を託せる頼もしい存在」と目を細める。新病院の建設も計画中で、「しっかりと準備を進めたい」と考えている。病院スタッフ全員で力を合わせ、この先もずっと地域の患者に信頼される病院であり続ける。



内科の総合病院を目指す大分記念病院

病院DATA

●診療科目

内科・血液内科・腫瘍内科・呼吸器内科・人工透析内科
消化器内科・内視鏡内科・循環器内科・神経内科
糖尿病内科・代謝内科・リウマチ科・心療内科
リハビリテーション科

●診療時間

平日／ 8:30～12:30、13:30～17:30

土曜／ 8:30～12:30

●休診日

日曜、祝日、年末年始(12月31日～1月3日)



医療法人

大分記念病院

大分市羽屋9組の5

TEL097-543-5005

<http://oitamh.jp>

